

学長式辞 学長 鈴木典比古

国際教養大学での学業を終えられ、栄えある御卒業を迎えられた 198 名の皆さん、本日は誠に御目出度うございます。また、本日修了式を迎えられた専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科の学生諸君に心からお祝いを申し上げます。本日の諸君の晴れの門出を心待ちにしていた御父母や関係者の皆さま方もこの卒業式において頂いていますが、その皆さんにも衷心よりお祝いを申し上げます。国際教養大学の卒業生の皆さんは本学が 9 回目に社会に送り出す方々であります。これまでに本学を巣立った学部卒業生数は 1,495 名になります。これは誠に小さな数字であります。しかし、この小さな数字を構成する皆さん一人ひとりには誠に大きな将来のポテンシャルを有する個人であります。皆さんをこのような「大きな個人」に育て上げたのは本学の国際教養教育、International Liberal Arts Education であります。

専門職大学院のグローバル・コミュニケーション実践研究科は高度な国際コミュニケーションの理論と実践に係る知識と技能を身につけ、グローバル社会において、外国語により業務ができる高度専門職業人を養成するという教育目標を掲げ、2008 年に開設されたこの種の大学院としては我が国で初めての専門職大学院であります。人数的に少ないですが、本日ここに、英語教育実践領域で 7 名、日本語教育実践領域で 5 名、発信力教育実践領域で 10 名の諸君にそれぞれの学位を授けることは本学の誇りであります。

さて、みなさんが本学において身につけた国際教養、International Liberal Arts とは何であったのでしょうか。いま、International と Liberal Arts を分けて考えてみましょう。まず、Liberal Arts ですが、リベラルアーツの語源はラテン語の Artes Liberales であり、英語では The Art of a Free Person、日本語では「自由人になるための学芸」ということとなります。この、「自由人になるための学芸」というのは、2 千年以上も前のギリシャ・ローマ時代には国内に都市国家群が成立していましたが、それぞれの都市国家を防衛し、運営し、発展させていく責任ある行動力とリーダーシップを有する都市国家の自由市民になるために必要とされる技芸や学問であり、知性・体力・倫理・行動をすべて含めた全人的能力を鍛錬するものであります。その理想的な人物は古代オリンピック選手に顕れております。やがて、中世に入ったヨーロッパでは、当時の封建制度の束縛や抑圧から人間を解放 (liberate a person) するため、人文主義者達によって人間形成のための教育として体系化されます。それは基礎的な学問としての 3 つの Trivium、即ち文法、修辭法、論理学の 3 分野を修めた学生を Bachelor of Arts 「学士」と呼び、更に上級の 4 つの Quadrivium、即ち幾何学、算術、音楽、天文学の 4 分野を修めた人を Master of Arts 「修士」と呼びました。その上に法律、医学、神学を修めた人を Doctor of Philosophy 「博士」と呼んだのであります。このように、今日の学問の分野で言えば人文科学、社会科学、自然科学の全ての分野で訓練を施し、全人力を持つ人間を創り上げてゆくことがリベラルアーツであったのです。中世のルネサンス期を中心に活躍したレオナルド・ダ・ヴィンチやミケランジェロやガリレオ・ガリレイやエラスムス等にその典型的な人物像が見られます。その後、ヨーロッパからアメリカに渡ったリベラルアーツ教育はアメリカという新天地で「個」を確立する教育として受け入れられ、更に社会や政治や産業の分野におけるリーダーを育成する教育へと変貌して行きました。そして第 2 次世界大戦後、そのようなリベラルアーツ教育が日本にもたらされたのであります。それはギリシャ・ローマの発祥の地から 2 千数百年の旅を経てきたものであります。このように壮大な歴史的背景を持つリベラルアーツ教育は、本学ではどのように展開されているのでしょうか。諸君は本学のカリキュラムの中で TOEFL® に始まり、EAP へと連動する英語集中プログラムの洗礼を受け、基盤教育に進み、グローバル・ビジネス課程とグローバル・スタディーズ課程を擁する専門教養教育を修了しました。全ての科目が英語で行われ、その授業は教員と学生間の、あるいは学生間の対話によってなされることを基本的枠組みにしていました。英語による授業の他にも、諸君は学生寮での留学生達との共同生活や 1 年間の海外留学生生活によって、他の大学であったならば経験することの出来なかった国際的學生生活を体験したのであります。このような国際的体験が本学のリベラルアーツ教育をして国際教養教育、International Liberal Arts と呼ばしめる所以であります。

このような国際教養教育の土台の上に、本学は 2014 年 9 月に文部科学省によって「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択されました。この事業は今後 10 年間をかけて本学をグローバル人材を育成する「日本発ワールドクラスリベラルアーツ大学」に進化させていく、というものであります。

世界は今、グローバル化が加速度的に進んでおります。その行き着く先では、世界の人々のライフスタイルや思考形式の同質化が進んでいるであります。我々は運命共同体としての「宇宙船地球号」に乗船していることを強く意識するようになってきています。しかし、同時に、我々は「宇宙船地球号」の上で世界各地の地域的特徴を保ち、各地の生活や文化や歴史の多様性を豊かに維持することも、人類の将来にとって不可欠の課題であることにも気付いています。かくして「宇宙船地球号」の上で、グローバリゼーションによる世界同質化がもたらされ、それは利便性、合理性、経済性を強める一方で、各地域の豊かな多様性、独自性、創造性等のローカリティを十分に確保していかなければなりません。この、グローバリズムとローカリズムの双方からの要請をダイナミックに均衡させながら進んでいくこと、これが「宇宙船地球号」の操舵をする者の責任となります。

ではもう一度、卒業生修了生諸君、卒業おめでとう。くれぐれも健康に留意して元気に飛び立って行ってください。

※実際のスピーチは英語で行われておりますが、ここでは日本語訳を掲載しております。